



外国出張報告書

平成 26 年 6 月 17 日

1. 出張国名 フィリピン
2. 出張月 平成 26 年 5～6 月
3. 出張目的 サトウキビ栽培試験の刈取り調査、地下水のサンプリング、
窒素汚染評価モデルの改良と適合に関する打ち合わせ及び
IRRI-ジャパンプロジェクトワークショップ参加：A

4. 成果の概要

カウンターパート機関の農業省土壌・水管理局（BSWM）で今年度の研究計画を相談した。今年度、新たに開始するサトウキビ栽培での窒素基肥の溶脱観測の概要を説明し、協力を要請した。また、10月ころをめどに、BSWM 職員 1 名を熱帯・島嶼研究拠点に短期招聘し、窒素汚染評価モデルの改良と適応を行うこととした。

西ネグロス州のプロジェクト試験地で、窒素を減肥するサトウキビ栽培試験の収穫調査を行った。また、窒素減肥を目的としたサトウキビ残渣を還元する栽培試験を開始した。サトウキビの窒素固定を推定するためにサトウキビ葉のサンプルを採取した。この地域の窒素汚染源推定のため、地下水と河川水の安定同位体比を測定するための水サンプルを採取し、分析依頼先に発送した。

イラガン州で開催されたガリー侵食に関するワークショップに参加した。